

できることから始めよう



みんなで 食品ロス 削減!

「食品ロス」とは

本来食べられるにもかかわらず捨てられる食品のことをいいます。食品ロス問題は、もったいないというだけでなく、資源の無駄遣い、環境への負荷、深刻な食料不足などを引き起こす大きな社会問題につながります。そのため食品ロス削減は、「持続可能な開発目標(SDGs)」にも位置付けられ、国際的にも重要な課題となっています。



© 2010 熊本県くまモン

熊本県は...

令和5年度の熊本県の食品ロス発生量は、年間約4.5万トンと推計されています。これを県民一人あたりに換算すると、年間約26kg、一人1日あたり約72g(小さなおにぎり約1個分)の食品ロスが発生しています。その中で、家庭から約2.9万トン、事業者から約1.6万トン排出されており、食品ロスの約6割は家庭から発生しています。



熊本県では、日常生活で取り組める食品ロス削減につながる4つの行動を **四つ葉のクローバー運動** として推進しています。

いますぐできる4つのアクション

その1 食べきり運動

外出時も、食べきれぬ量を注文し、残さず食べるように心掛けよう!

3010運動

会食や宴会時
「最初の30分」「最後の10分」
席に座って食事を楽しみましょう



その2 てまえどり

買ってからすぐに食べるものは、商品棚の「手前」から選ぶようにしましょう!

消費期限や賞味期限切れによる食品ロスを減らすことにつながります。自分のライフスタイルに合わせて無理せずに取り組んでみましょう。



その3 フードドライブ

家庭に眠っている食品を支援団体などに提供しよう!

食品ロスを減らすだけでなく、提供された食品が支援を必要とする方々の役に立ちます。



その4 食ロスチェック

今の自分はどうだろう? 自宅の食品ロスをチェックしよう!

日々の生活で「いつ」「何を」「どれくらい」「どんな理由で」捨てたのかをチェックして見直しましょう。

